

弘前大学学報



旧制弘前高等学校 外国人教師館

第 82 号
平成23年 1月号

学内ニュース

○平成23年 年頭の挨拶	-----	1
○平成23年度大学入試センター試験実施	-----	3
○平成22年度文部科学省大学生の就業力育成支援事業 弘前大学フォーラム「地域とともに育む大学生の就業力」を開催	-----	4

諸 会 議	-----	5
--------------	-------	---

人 事

○新任教授紹介	-----	7
○人事異動	-----	7

主要日誌	-----	9
-------------	-------	---

学内規則等の制定等	-----	10
------------------	-------	----

計 報	-----	11
------------	-------	----

平成23年 年頭の挨拶



皆さん、明けましておめでとうございます。昨年暮大晦日は天候が荒れましたが、元旦は晴れて、雪のある津軽らしい落ち着いた新年を迎えられました。皆さんも、新しいお気持ちで新年を迎えられたことと思います。皆さんには、今年も弘前大学発展のために、お力添えをくださるようお願いいたします。

今年は弘前城築城400年に当たります。私も弘前城築城400年祭のオープニングセレモニーのカウントダウンに招かれて参加してまいりました。今年一年、弘前市では築城400年の様々なイベントが開催されることになっています。我々弘前大学も、弘前城の城下町にある大学として、この行事を応援し参加してまいりたいと思います。

ところで、当の弘前大学は、昨年国立大学法人評価委員会の評価による運営費交付金配分額のランキングで、全国最下位でありました。しかし後半、大学の基盤整備を着実に進め、高い評価をえたところでもあります。本年3月、第1期中期目標期間の最終まとめの評価が、出るようになっておりますが、本学は大学間格差・地域間格差等を反映して、必ずしも高い評価ではないかも知れません。

しかし、本学は昨年、本学の低い評価の反省の下に、緊急研究推進会議を開き、研究推進の方向に一定の方策を示し動き出したところでもあります。また、少子化による入学志願者減に対応するため、第3次臨時入試改善委員会を発足させ、外部から、分かりやすい入試をめざして、改善を加えました。

一方、学部及び大学院の教育の質の向上は、喫緊の課題であり、昨年緊急教育推進会議を発足させ、この課題に対して鋭意検討を進めているところでもあります。具体的には、先の第3次臨時入試改善委員会の審議では、カバーしきれなかった入学者選抜試験のあり方、そして、新入学者の学力低下に対する入学前教育及び初年次教育、特に英語力向上、教養教育としての21世紀教育のあり方、大学院教育、学生の就職、学生の奨学金・授業料免除、教員自身の質の向上等、様々ありますが、究極のところ、高い評価の得られる人材を、社会へ送り出すことにかかっています。本年1年は、この教育の質の向上に向け、英知を結集して、他大学にはない本学独自の特徴ある教育をめざしたいと思いますので、全教職員の英知の結集をお願いいたします。

研究については、幸い本学は第1期中期目標期間中に、様々な形の研究の基盤整備を進めました。出版会の設立、機器分析センターの設置、附属図書館における文系図書の充実、三研究所、すなわち北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所の設立等であります。

幸い、（本年４月公表実施予定の第４期科学技術基本計画及び）平成２３年度の文部科学省の基本計画では、環境、エネルギーが大きく取り上げられており、本学は正に、これらの問題を先取りする形で、基盤整備を進めてきたところであり、後は教員ひとりひとりの問題意識の持ち方と、研究推進力にかかっていると思います。

本学の科学研究費の採択状況が、必ずしも本学の規模に見合うものではありませんでしたが、少しずつ上昇の方向に向かっているのも更に押し進めて、これからこれまでの研究の低迷から脱却をはかろうと思いますので、教員各位の努力をお願いいたします。

校舎等の施設の整備も予想されていた以上に進んでおり、平成２２年度の補正予算で教育学部の第Ⅲ期改修と改築の工事が決定され、校舎関係のものとしては保健学科の校舎と教育学部附属特別支援学校校舎を主なものとして残すことになりましたので、これらの改修はここ数年の内に進められることになるだろうと、強い期待が持てることになりました。

そして現在、教育学部の校舎の改修に合わせて、弘前大学資料館の設置に向けて具体的な検討が進められております。

これらが完成いたしますと、本学は大規模大学等の有する施設や研究設備等に関して、小さいながら、あるいは少ないながらも一応揃い、内容の充実した、そして完成度の高い国立大学と言うことになります。

昨年末、国の予算案がまとまり、国立大学関係予算は当初言われていたことをくつがえして、大幅な復活を見ました。特に本学では、恐らく他大学に比して異例と言われる程の運営費交付金と概算要求の内示を受けました。これは、本学のこれまでの基盤整備等の改革等の実績が高く評価されていることが推察されます。これらの予算獲得に向けて大変努力された関係教職員に心から御礼を申し上げます。しかし、教育の質と研究のレベルにおいては、先の評価において問題有りとされていることを心しなければなりません。

国立大学は我国の少子化による入学志願者の減と国家財政の危機に迫られ、厳しさを一層増すと同時に、国立大学としての評価と競争はいよいよ激しいものとなります。我国の少子化・入学志願者減は、私立大学を被い、これはやがて、国立大学に対して、統廃合は起こらないとしても、大学内部の縮小及び大学の枠を越えた関連学部間の融合等が、求められることになるでしょう。リーディング大学院の構想は、正に力のない大学院の切り離しを意味しています。大学の淘汰が確実にひたひたと迫ってきておりますので、各部局はこのことを心して、自らの部局の生き残りをかけて、この１年を大胆な改革に向けて努力してほしいと願います。学長としては、これらの動きを取り上げ、全面的に推進してまいります。今年一年は、正に生き残りのための改革の年であります。

しかし、先程お話ししたような本学の基盤整備を基に考えれば、明るい方向がきっと見出せると思います。学長としては、この明るい方向に希望を持って、皆さんと共に、本学発展のため努力いたします。皆様にも明るい希望を持って、この一年間にそれぞれの部局の改革に立ち向かわれるようお願いいたします。国立大学をとりまく厳しい状況ですので、厳しい挨拶となりました。これをもちまして年頭の挨拶といたします。

平成２３年　１月　４日

弘前大学長　遠　藤　正　彦

平成23年度大学入試センター試験実施

平成23年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月15日（土）、16日（日）の2日にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医学部の9試験場で実施されました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日（金）、26日（土）（合格発表は3月6日（日））、後期日程試験が3月12日（土）（合格発表は3月20日（日））に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

◇平成23年度大学入試センター試験 教科別受験状況

弘前大学試験場	担当学部：医学研究科、保健学研究科	志願者数：1,450人
---------	-------------------	-------------

1月15日（土）	科 目	公民	地理歴史	国語	外国語（筆記）	英語（リスニング）
	受験しなかった者	328	423	70	56	60
	受験した者	1,122	1,027	1,380	1,394	1,390
	受 験 率（％）	77.4%	70.8%	95.2%	96.1%	95.9%

1月16日（日）	科 目	理科①	数学①	数学②	理科②	理科③
	受験しなかった者	567	113	210	461	881
	受験した者	883	1,337	1,240	989	569
	受 験 率（％）	60.9%	92.2%	85.5%	68.2%	39.2%

平成22年度文部科学省大学生の就業力育成支援事業 弘前大学フォーラム「地域とともに育む大学生の就業力」を開催

本学では、平成22年度文部科学省大学生の就業力育成支援事業の採択を受け、第1回目となる弘前大学フォーラム「地域とともに育む大学生の就業力」を1月26日（水）に開催しました。

今回のフォーラムでは、本学で採択された課題「地域企業との対話を通して培う企画提案力」をテーマに、2つの基調講演と学生による地域企業の抱える経営課題を素材とした課題解決型学習の成果発表を行いました。

遠藤学長、石堂人文学部長の挨拶に続き、神田文部科学省高等教育局専門教育課企画官を講師に迎え、「大学における就業力育成」と題した基調講演を行いました。神田企画官からは、大学生の社会的・職業的自立が図られるよう大学の教育改革を支援していくことや、他大学における先進的取組の紹介がありました。引き続き、坂本弘前観光コンベンション協会企画開発部長が「地域が実践する大学生教育」と題する講演を行いました。

後半は「地域との連携講義－大学生のチャレンジ2010－」と題し、本学人文学部3年生21人が4チームに分かれ、今年度の取組の概要と成果を発表しました。学生たちは、それぞれの取組による課題点・改善点を発見し、コミュニケーション能力やマナーの向上等につなげていきたいなど、今後の抱負を語りました。

当日は、学生や企業関係者ら約150名の参加があり、学生たちの多彩なアイディアに興味深く耳を傾けていました。



今年度の取組の概要と成果を発表する学生

■ 諸 会 議

▼役員会

1月5日（水）

審議事項

- 1 平成23年の本学の方針について
- 2 調査委員会の調査結果について
- 3 弘前大学人文学部規程の一部改正について

1月17日（月）

審議事項

- 1 調査委員会の調査結果について
- 2 弘前大学人文学部規程の一部改正について
- 3 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン構想について
- 4 遺伝子実験施設の農学生命科学部への移管について
- 5 国立大学法人弘前大学予算配分方針（案）について
- 6 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
- 7 丸井清泰初代学長記念碑建立について

報告事項

- 1 教育研究評価に関する評価報告書（案）に係る意見の申立てについて
- 2 平成24年度概算要求について
- 3 大学入試センター試験について
- 4 弘前大学創立60周年記念事業報告について

1月24日（月）

審議事項

- 1 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
- 2 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン構想について
- 3 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 4 文京町地区駐車場有料化について
- 5 弘前大学動物実験に関する規程の一部改正について
- 6 緊急教育推進会議から要望について
- 7 弘前大学大学院振興基金（案）について

報告事項

- 1 組織評価・アクティビティ向上に関するヒアリングについて
- 2 弘前大学の経済波及効果について

1月31日（月）

審議事項

- 1 弘前大学保健学研究科規程の一部改正について

報告事項

- 1 弘前大学大学院振興基金について
- 2 弘前大学動物実験に関する規程の一部改正について
- 3 平成23年度弘前大学特別研究員の採択（継続・新規）について
- 4 臨時国立大学法人の財務等に関する説明会について

▼教育研究評議会

1月11日（火）

審議事項

- 1 調査委員会の調査結果について
- 2 弘前大学人文学部規程の一部改正について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - （1）教員の採用・昇任
- 2 平成22年度内部監査の結果について
- 3 平成23年度総合文化祭実施に伴う平成23年度学年暦について
- 4 委員会報告
 - （1）緊急教育推進会議報告
 - （2）21世紀教育センター運営委員会
 - （3）教育・学生委員会
 - （4）入学試験委員会
 - （5）研究・産学連携委員会

▼財務・施設委員会

1月7日（金）

審議事項

- 1 文京町地区駐車場有料化について

▼教育・学生委員会

1月27日（木）

審議事項

- 1 弘前大学大学院長期履修学生に関する規程の一部改正について
- 2 学生表彰について
- 3 弘前大学授業料免除選考基準の一部改正について
- 4 懲戒処分規程における「試験等」の範囲について
- 5 その他

▼研究・産学連携委員会

1月20日（木）

審議事項

- 1 平成22年度弘前大学特別研究員の継続について

報告事項

- 1 第4回北東北国立3大学連携推進研究プロジェクト成果報告会の開催について
- 2 弘前大学新エネルギー関連大学院博士課程設置検討委員会の設置について
- 3 理科離れ（CST）の動きについて
- 4 地域共同研究センター運営委員会の報告について

新任教授紹介



人文学部

ミヤザカ トモ
宮坂 朋

宮坂人文学部准教授が、平成23年1月1日付けで人文学部教授に発令されました。



人文学部

キムラ ジュンジ
木村 純二

木村人文学部准教授が、平成23年1月1日付けで人文学部教授に発令されました。



人文学部

シロヒト
城本 るみ

城本人文学部准教授が、平成23年1月1日付けで人文学部教授に発令されました。



人文学部

イノウエ ヨウスケ
李 永俊

李人文学部准教授が、平成23年1月1日付けで人文学部教授に発令されました。



人文学部

イイジマ ヒロツグ
飯島 裕胤

飯島人文学部准教授が、平成23年1月1日付けで人文学部教授に発令されました。



被ばく医療総合研究所

ヤマダ マサヒロ
山田 正俊

山田独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター環境放射線影響研究グループ海洋動態解析研究チームリーダーが、平成23年1月1日付けで本学被ばく医療総合研究所教授に発令されました。



被ばく医療総合研究所

トコナミ シンジ
床次 眞司

床次独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター防護技術部環境放射能調査支援室主任研究員が、平成23年1月1日付けで本学被ばく医療総合研究所教授に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

発令 年月日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成23年1月1日		村 上 和 男	助手 (医) [27. 12. 31まで]
平成23年1月1日		石 田 祐 司	助手 (医) [27. 12. 31まで]
平成23年1月1日		滝 吉 典 子	助手 (病院) [27. 12. 31まで]
平成23年1月1日		久 保 田 健	准教授 (北日本) [29. 12. 31まで]
平成23年1月1日		山 田 正 俊	教授 (被ばく) [31. 3. 31まで]
平成23年1月1日		床 次 眞 司	教授 (被ばく) [32. 12. 31まで]

[昇任]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月1日	准教授(人文)	宮 坂 朋	教授(人文)
平成23年1月1日	准教授(人文)	木 村 純 二	教授(人文)
平成23年1月1日	准教授(人文)	城 本 る み	教授(人文)
平成23年1月1日	准教授(人文)	李 永 俊	教授(人文)
平成23年1月1日	准教授(人文)	飯 島 裕 胤	教授(人文)
平成23年1月1日	助教(医)	阿 部 直 樹	講師(病院) [29.12.31まで]

[配置換]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月16日	総務部長(総務)	江 羅 茂	医学部附属病院副病院長 [23.3.31まで]

[併任]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月1日	教授(医)	奥 村 謙	大学院医学研究科心臓血管病先進治療学講座 [25.12.31まで]
平成23年1月16日	理事(財務・施設担当)	渡 辺 政 美	事務局長

[兼務]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月16日	医学部附属病院副病院長	江 羅 茂	総務部長

[職務付加]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月1日	財務企画調整役(財務・財企)	浅 利 清 一	財務・施設委員会委員[23.3.31まで]
平成23年1月1日	看護部長(病院)	砂 田 弘 子	医学部附属病院院長補佐(免)
平成23年1月1日	看護部長(病院)	砂 田 弘 子	医学部附属病院院長補佐 [24.3.31まで]

[育児休業]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月1日	技術職員(学務・教務)	宮 元 章 匡	平成23年12月31日まで
平成23年1月4日	一般職員(農生)	篠 村 暁 菜	平成23年12月28日まで
平成23年1月4日	一般職員(病院・医事)	宮 古 安 希 子	平成23年 3月31日まで
平成23年1月9日	看護師(病院・看護部)	戸 田 貴 子	平成23年 9月30日まで
平成23年1月11日	一般職員(学情・学情)	小 石 川 菜 生 子	平成23年 3月31日まで

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年1月15日	看護師(病院・看護部)	福 原 絵 利 菜	辞職

■ 主要日誌

- 1月5日 役員会
- 7日 財務・施設委員会
- 11日 企画戦略会議
教育研究評議会
- 12日 学長定例記者会見
- 15日 大学入試センター試験
- 16日 大学入試センター試験
- 17日 役員会
- 18日 事務連絡会議
経営協議会
- 20日 研究・産学連携委員会
- 24日 役員会
- 26日 弘前大学フォーラム「地域とともに育む大学生の就業力」
- 27日 教育・学生委員会
- 31日 役員会

■ 学内規則等の制定等

（平成２３年１月２４日改正）

本年度採択された文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」の取組として、学生の就業力育成体制を整備するため、人文学部経済経営課程（経営学コース）のカリキュラムの充実を図ることとし、下記の規程の一部を改正した。

○弘前大学人文学部規程

（平成２３年１月２４日改正）

平成２３年４月１日付けで、文京町地区の駐車場有料化を行うことに伴い、下記の規程の一部を改正した。

○弘前大学文京町地区構内交通管理細則

（平成２３年１月２４日改正）

青森県において、義務教育等教員特別手当の額を引き下げたことに伴い、本学における義務教育等教員特別手当の額を引き下げるため、下記の規程の一部を改正した。

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

訃報

本学名誉教授 奥田 光直 氏には、1月 2日（日）御逝去されました。
享年 80歳
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

本学名誉教授 帛尾 俊哉 氏には、1月 5日（水）御逝去されました。
享年 86歳
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

本学名誉教授 青木 二郎 氏には、1月 15日（土）御逝去されました。
享年 102歳
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第82号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町 1
電話 (0172) 36-2111